

地域とともに

お問い合わせは  
国土交通省  
東北地方整備局  
三陸国道事務所  
地域づくり相談室まで

# 三陸国道

**がんばろう！東北**

〒027-0029  
宮古市藤の川4の1  
tel 0193-62-1711  
fax 0193-71-1734

三陸国道事務所のホームページ及びさんこく携帯サイトは

三陸国道  で検索出来ます。



## 新年あけましておめでとうございます

平成27年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、平素より道路行政につきましてご理解とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

東日本大震災から早いものでまもなく4年を迎えます。

三陸国道事務所では、被災地の早期復興のリーディングプロジェクトとして事業化された、復興道路及び復興支援道路の整備促進を図っているところであり、復興道路である三陸沿岸道路（山田～青森県境間、延長約108km、8区間）と復興支援道路である宮古盛岡横断道路（宮古～箱石間、延長約33km、1区間）の早期開通という地域の皆様の期待に応えるべく全力で取り組んでいるところでございます。



昨年は、「工事本格化の年」として、大ロット工事を発注するとともに、施工に時間を要するトンネル等の大規模な構造物についても工事に着手して参りました。

これも岩手県及び関係市町村を初めとする関係機関並びに地域の皆様の絶大なるご協力によるものであり、改めて感謝申し上げます。

昨年8月末には三陸沿岸道路専用の「公共生コンプラント」が稼働しました。これにより三陸沿岸道路工事で需要が高まっている生コンクリートを安定供給する事が可能となり、円滑な復興事業の推進に大きく貢献することが期待されます。

また、工事の本格化に伴い、地域の皆様に復興事業が進んでいる事を実感して頂くとともに、事業への理解を深めて頂く事が重要であることから、施工業者の方々にもご協力頂きながら、式典などのイベントや復興道路のパネル展、進捗状況チラシの配布、役場ロビーへの事業進捗等情報提供モニターの設置など事業進捗の「見える化」にも取り組んでいるところでございます。

また昨年3月には、三陸沿岸道路の尾肝要道路（4.5km）が開通し、国道45号最大の難所であった閉伊坂峠の解消が図られ地域の皆様に大変喜んで頂いております。この開通により、冬期の交通安全の確保や災害時の対応、地域振興などに大きく貢献するものと期待しております。

さらに4月には、「山田宮古道路（14km）、田老岩泉道路（6km）が平成29年度、久慈北道路（7.4km）が平成30年度の開通見通し」であるということ公表させて頂きました。残る区間につきましても、三陸沿岸地域の早期復興のため、関係機関や地域の皆様と一体となって、一日でも早い開通を目指し事業を推進して参ります。

その他、現国道45号では、東日本大震災の津波により、橋桁が流出する被害を受けた、気仙大橋の架け替え工事の推進や、陸前高田～宮古市田老間の津波により大きな被害を受けた地区について、沿道のまちづくり計画の進捗に合わせ、一体的に現道45号の再配置や盤上げの事業を進めております。



本年も引き続き、これらの事業推進を図り、被災地の早期復興のため、一日も早い開通に向けて関係者一丸となって全力で取り組むとともに、施設の老朽化対策をはじめ道路交通の安全・安心の確保に向けた道づくりに取り組んで参りますので、皆様のご理解とご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

国土交通省東北地方整備局  
三陸国道事務所長

永井 浩泰